

一関市スポーツ協会会報  
**いちスポ**

第 18 号

令和 7 年 12 月 22 日発行

一般社団法人  
一関市スポーツ協会

## 一関市スポーツ協会のシンボルマーク決定



**一関市スポーツ協会**  
Ichinoseki Sport Association

この作品は、一関市の「I」(アイ)とスポーツの「S」(エス)をモチーフとし、市民が元気にのびのびとスポーツを楽しむ様子を表現しています。

赤は「熱い情熱」、青は「すがすがしい青空」、緑は「豊かな自然とスポーツのフェア精神」を表現しています。

12月10日（水）最優秀賞の授賞式を行い、賞金10万円が佐藤会長から鈴木久さんに手渡されました。

当協会では、今後、スポーツ協会の旗、ホームページ、名刺などにこのシンボルマークを活用してまいります。（写真の右側が鈴木久さん）

かねてから、募集していた当協会の協会章（シンボルマーク）が決定しました。

このシンボルマークの作製は、本年6月1日に一関市体育協会から一関市スポーツ協会に名称変更したことを契機に、これまでなかったシンボルマークを作製することとしたもので、多くの皆さんのが当協会への関心を持っていただけたため公募したものです。

応募作品122点の中から、最優秀賞に選ばれたのは、盛岡市在住のグラフィックデザイナー、鈴木久さんの作品です。（左のマーク）



## 一関市に要望書提出



令和7年11月10日（月）、市役所において佐藤 修蔵会長、岩渕 一司副会長、児玉 進副会長、平野 和彦常務理事が出席し、佐藤 善仁一関市長に対し、令和7年度一関市に対する要望を行いました。

佐藤会長からは、冒頭「予算的に厳しい状況だというのを理解しているが、要望項目のうち緊急を要するものなどいくらかでも前に進めるようお願いしたい。」とあいさつがあり、下記の事項について要望しました。

市長からは、令和8年度予算編成の中で、検討する旨話されました。

要望の主な内容は下記のとおりです。

### 1. スポーツ施設の計画的な改築、改修について

当協会が指定管理者として管理運営を受託しているスポーツ施設のうち、経年劣化により設備の機能が大幅に低下している各施設の空調設備や給排水設備、照明設備などの大規模修繕、改修工事、改良工事等の実施。（以下要望事項）

- (1) 東山、藤沢及び花泉運動公園のテニスコートの人工芝の全面張替え等
- (2) 花泉運動公園野球場、大東野球場、千厩野球場、東山球場、東台野球場、一関運動公園多目的広場の土の入れ替え整備及び一関運動公園野球場の防球ネット設置、スコアボードの改修
- (3) 一関運動公園陸上競技場の雨漏り改修及び夜間照明設備の新設

- (4) 千厩体育館の移転改築
- (5) 東山B & G海洋センターの改修
- (6) 千厩アイスアリーナの改修
- (7) 老朽化により撤去した遊具の代替遊具の早期設置
- (8) 備品の更新、追加
  - ① 川崎運動広場ダッグアウトベンチの更新
  - ② 卓球台、卓球フェンスなど競技用備品の更新、追加
  - ③ 野球場等グラウンド整備のためのスポーツトラクタの更新、追加
- (9) 藤沢スポーツプラザの補修及び屋内人工芝グラウンドの整備
- (10) 水銀灯、蛍光灯使用施設の計画的なLED化
- (11) スポーツ施設の老朽化した放送設備等の更新

## 2. スポーツ施設の指定管理について

- (1) 指定管理料の適切な算定
- (2) 人件費の適切な算定
- (3) 現下の光熱水費及び燃料費の高騰による維持管理費の増大に係る指定管理料の適切な反映
- (4) 指定管理施設における利用料納入方法の多様化とDXの推進
- (5) ネーミングライツ導入施設のネーミングライツ料の上乗せした予算化

## 3. 「スポーツが盛んなまちづくり」について

- (1) スポーツサークル等の活動でスポーツ施設を利用する場合の減免措置の検討

## 第3回一関・平泉ボッチャ大会開催

第3回一関・平泉ボッチャ大会は、12月6日（土）一関ヒロセユードームを会場に開催されました。今年から平泉町のチームも含めての開催となり、当日は、43チームが熱戦を繰り広げ、交流を図りました。大会は11ブロックで予選リーグを行い、各ブロックの1位と2位の22チームにより決勝トーナメントを行いました。



結果は、優勝「上町ストーンズ」（大東）、準優勝「チーム平沢」（一関）、第3位「本寺B」（一関）でした。

## 第44回一関国際ハーフマラソン大会開催される

第44回一関国際ハーフマラソン大会は、10月5日（日）一関ヒロセユードーム周辺を発着するコースで開催されました。

当日は、ハーフマラソンの部では1,281人、10kmの部では421人が秋の一関路を駆け抜けました。

ハーフマラソンの部の男子はポール・クイラ選手（JR東日本）が1時間04分26秒で2年連続3回目の総合1位となりました。女子は清田 真央選手（スズキ）が1時間17分39秒で総合1位となりました。また、10kmの部の男子は太田 元紀選手（水ランレッドブルズ）が32分34秒で、女子は内海 美咲選手（おおさきRC）が40分57秒でそれぞれ総合1位となりました。

本年は、できるだけ暑さを避けるよう、前年より1週間遅い10月の開催となりましたが、スタート時で24.1℃、11時の時点では、27℃まで気温が上昇しました。給水所では水のほかスポーツドリンク、スポンジなどを配備するなど暑さ対策を実施しながらの大会運営となりました。

参加者の皆様、大会に協賛していただいた企業の皆様、運営にあたっていただいたすべての関係者に感謝と御礼を申し上げます。



## 千厩アイスアリーナは今シーズンも営業を休止します

いよいよウインターポートの季節がやってきます。いつも千厩アイスアリーナをご利用いただきありがとうございます。千厩アイスアリーナは、製氷するための配管が破損しているため、今シーズンも営業を休止することといたしました。楽しみにしていた皆様には誠に申し訳ありませんが、ご理解いただきたますようお願いいたします。

## スポーツ協会のホームページをご活用ください

一関市スポーツ協会のホームページは下記QRコードから閲覧できます。また、登録した方にスポーツ情報を提供するLINE公式アカウントを開設していますのでご活用ください。

一関市スポーツ協会ホームページはこちらから



一関市スポーツ協会 LINE  
公式アカウントはこちらから

